

### 第3回 Create Japan WG

日 時：令和4年4月12日 14:00～15:30

場 所：オンライン開催

出席者：クライン委員、オヤ委員、サーズ委員、コーカー委員、梅澤委員、佐藤委員、田中座長、夏野委員、村上委員  
：(知財)澤川次長、東川企画官

議 題：

- 1、開会
- 2、(1) クールジャパンの再起動に向けた議論  
(2) 委員による意見交換

#### 【主な意見】

- ・日本への留学生の受け入れ支援はもっと国として積極的にすべき。今回のコロナ禍でも真っ先に留学生の受け入れビザが出なくなってしまった。海外から留学してくる方は絶対に日本ファンになる。受け入れ拡大などの文言を盛り込んでほしい。文科省も法務省も留学生の受け入れがCJにつながるという認識があまりない。
- ・今年、地域にITの専門学校が開校するが、留学生を受け入れられず困っている。自治体、組織は一生懸命やっているが、法律などで制約があるため外国人を呼ぼうとしても来られないし、お金持ちしか呼べない。
- ・実はある程度収入がないと日本での暮らしは難しい。CJの委員をしても収入が少ないことを理由に、未だにビザが1年しか発給されず、日本で生活することは難しい。来日にも苦勞するのに、活動の継続にも支援がなく、とても苦勞する。在留資格を決めるのは法務省。もう少し融通がきくような滞在の緩和がほしい。そうすれば発信のコミュニティも変わる。
- ・ファンコミュニティが海外で広がっていることを実感している。2019年と比べて、最近では子どもの来場者も多い。下の世代の人材が増えていることを実感。
- ・9月から日本に留学予定だが、本当に渡航できるのか不安という海外の学生もいた。ビザは投資と考えれば、将来日本のインフルエンサー、スプレッダーになりうる。
- ・CJプロデューサーには海外マーケティングやデジタル技術をアドバイスするような人材が必要。各エリアにエキスパートがいたら良いと思う。
- ・可能かどうか分からないが、できたら新しい、オープンで興味のある方が簡単に参加でき

るプラットフォーム、メディアがあれば良いと思う。すでに活動している外国人、海外の日本ファンを表に出すサービス、プラットフォームがあれば良い。

- ・プラットフォームについて、マッチングすることによって、コラボするために一緒にビジネスを生み出せる NPO のような組織にして、もう少し定量化してビジネスモデルになるようなものになれば、活用できる。
- ・海外から見て日本がクールではないと思うところが、Web3.0、メタバースなど。海外の優秀な外国人が来日しても Web 3.0 のビジネスをするインセンティブがない。今後の日本の経済的な成長にもよる話だが、例えばスペシャルエコノミックゾーンのようなところをつくり、そこで優秀な外国人の企業家が事業を立ち上げられる仕組みがあったら良い。
- ・海外の DX は Web 2.0 から Web 3.0 に移行しようとしているのに、日本はまだ FAX から脱却しようとしている段階で、遅れている印象。Web 3.0 時代が日本にとって大丈夫なのかと心配している。
- ・日本は規制、税制が厳しすぎる。特別な仕組みを限定された地域でつくり、そこで起業する外国人に対するインセンティブをつくる方が良い。
- ・コミュニティについて事例を紹介するのであれば、今語るべき 21 世紀型のものにすべき。デジタル田園都市構想の話にもつながる。
- ・トークン経済圏を CJ にどう生かすか語るべき。Web 3.0 の時代は強い知的財産権を持っている人が今までよりはるかに稼ぎやすい時代。トークン経済圏を拡げて IP の価値を高めれば、トークンの価値を高められ、世界に広げられる。CJ とマッチしているのに、知財計画に盛り込まれていない。コミュニティともストレートにつながるので、Web 経済圏に関するコミュニティの事例を入れるべき。
- ・輸出とインバウンドは堅調ではない。インバウンドを再開して、2019 年と同じようなインバウンド誘致をするのではなく、日本の文化価値をより深く理解してくれるような、文化リテラシーの高いお客さんを迎えよう、というメッセージを出すべき。
- ・知財計画が決定した数カ月後にはどのような形であれ国境が開いているだろうから、時代遅れにならないような表現にすべき。一方で、中国のように、すぐには日本にたくさん来られない国に対しては、輸出を中心とする戦略に代替すると書くべき。
- ・日本のサステナブルについては、もう少し課題をかくべき。日本のフードロスパフォーマンスが悪い。旅館では品数が多くフードロスが発生するためサステナブルではない。「あまりサステナブルではない」という問題提起にした方が良い。日本の食生活自体は魚と肉をバランスよくとるので環境負荷が低い。世界中が日本のバランスのような食生活に変わったとすると地球は 1 つで足りるという話を書いても良いかもしれない。
- ・新しく建設するマンションやビルに対して、省エネの観点の法律等の規定がない。民間に

任されている。政府から法律を出した方が良い。断熱材をして、あまりエネルギーを無駄に使わず、冬に暖房を使いすぎないような。サステナブルになった方が良い。

- ・木を伐採する仕事を引き受けているが、古い、病気などの理由で伐採の対象となってしまう。木は日陰の提供、CO2 を吸収するなどの効果があるので、パブリックなものだと思う。過度な伐採を禁止するような法律があった方が良い。
- ・SDGs の観点から、CJ でサステナブルアワードをつくったらどうか。マッチングアワードがあるが、もう少しサステナビリティを当たり前にするなら、名前を変えても良いかもしれない。分かりやすくフォーカスした方がメッセージ性がある。マッチングアワードは経済だけ、利益のみにフォーカスしているような印象。
- ・ファンコミュニティは上から下へのコミュニティからエコシステムの形に生まれ変わろうとしている。積極的に取り入れた方が良い。
- ・CJ をどうやってビジネスモデルにするか深掘りできれば。
- ・CJ がまだ知られていない。必要なのがオリジナルのメディア。難しいことではないと思うが、私たちが良いと思っている CJ を外国人の視点から、編集力がある人が紹介するだけでネットワーキングができる。そこからビジネスが生まれる。CJ の活動をしている人は海外にもたくさんいる。まずそのような人たちが考える日本の良さを編集できるチーム、プロジェクトを立ち上げるべき。
- ・CJ のリポーター、ジャーナリストがあれば良い。まだ知られていない日本について SNS で発信してもらいたい。短めでも良いから楽しく伝わったらいいなと思う。
- ・留学は個人の意思だが、留学先として日本を選んでくれた人に対して政府が措置をとっているかが問題。収入だけでビザの年数を設定しているのはいかがなものか。CJ のアドバイザーになっている人はビザがもう少し長くできるようにするなどできないか。
- ・CJ の活動をしていてもビザインセンティブはないし、自治体にも難しいと言われる。インセンティブがあれば日本でもっと活動できるし、日本人も知らないところを探りたい人はたくさんいる。
- ・食をターゲットに海外から観光客を呼ぶ CJ と、留学生を呼ぶ CJ、コミュニティを Web 3.0 でつなげる CJ、3つの方向性がある。衛生的であること、コンテンツに触れる人が増えたことなど、コロナで CJ はプラスに働いた。このチャンスを活かしたい。
- ・Web3.0 について内閣府の他のチームや自民党 PT とブリーフィングをしている。カルチャーの最先端をいかなければいけない我々が無視するわけにはいかない。

以上